

介護予防・日常生活支援総合事業の評価項目について

太枠部分及び下線部が、今回の変更箇所。

I 地域づくりを含む全体評価

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の例	市評価項目	市評価方法
1 ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	①地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的について、分かりやすく説明することのできる職員の養成や、説明資料の整備ができていますか。	(1) 地域包括ケアシステム構築に向けて市関係部署間とともに、地域包括支援センター、地域の各種団体等と連携する体制を構築できているか。	(1) 及び (2) について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない 以上の得点を平均したものをストラクチャー指標の得点とし、本項目全体の評価も記載する。
		②地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、介護保険、高齢者福祉、地域福祉、健康増進、企画、市民活動推進、自治会支援、社会教育、産業振興、都市計画、住宅、交通等の担当部署と広く連携する体制を構築できているか。		
		③地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、地域包括支援センターと連携する体制を構築できているか。	(2) 協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置による推進体制は構築できているか。	
		④地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、協議体を設置し、元気な高齢者をはじめとする多世代の地域住民が担い手として参加する住民主体の活動団体、地域運営組織、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、都道府県医師会・郡市区医師会、医療法人、地縁組織、協同組合、民間企業、シルバー人材センター、介護サービス施設・事業所、老人クラブ、家政婦（夫）紹介所、商工会、民生委員等の多様な主体による多様なサービス・活動の提供体制を構築できているか。		
2 プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	①地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）できるよう、総合事業の企画・実施・評価のプロセスの中で、地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われているか。	(1) 地域課題やニーズの洗い出し等に向けた地域住民との話し合いはできているか。	(1)～(6)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない プロセス指標【定性評価】全ての項目の点数を平均したものをプロセス指標【定性評価】の評価とする。
		②地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）できるよう、介護サービス施設・事業者、医療機関、民間企業、地域運営組織、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、都道府県医師会・郡市区医師会、医療法人、地縁組織、協同組合、シルバー人材センター、老人クラブ、家政婦（夫）紹介所、商工会、民生委員、住民等のあらゆる関係者に働きかけを行っているか。	(2) 市や地域支え合い推進員等を通じて、地域課題解決に向けた関係者への働きかけはできているか。	
		③自治会、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、ボランティア、NPO法人、社会教育関係者の活動状況等について地域資源として適切に把握できているか。	(3) 地域資源等の情報の見える化・共有化はできているか。	
		④介護予防の推進、生活支援の充実に関する行政課題を整理できているか。	(4) 地域課題を行政として把握し、介護予防の推進や生活支援の充実に役立っているか。	
		⑤介護予防の推進、生活支援の充実を図っていく上で、長期的な視点をもって具体的な戦略を立てられているか。	(5) 総合事業や地域の支え合い活動に関する苦情や事故を把握しているか。	
		⑥総合事業に関する苦情や事故を把握しているか。	(6) 取り決めにに基づき、関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）との個人情報の共有を行っているか。	
		⑦関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）において情報を共有するため、共有する情報の範囲、管理方法及び活用方法に関する取り決めをしているか。		

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の例	市評価項目	市評価方法			
1 アウトカム指標【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	①65歳以上新規認定申請者数及び割合 (新規認定申請者割合=新規認定申請者数÷高齢者数) ※介護予防・日常生活支援総合事業実施状況調査を活用	(1) 65歳以上の新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別) (新規認定者割合=新規認定者数÷高齢者数)	(1)については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている			
		②65歳以上新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別) (新規認定者割合=新規認定者数÷高齢者数) ※介護予防・日常生活支援総合事業実施状況調査を活用	(2) 65歳以上の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別) (認定率=認定者数÷高齢者数)	(2)については、高齢者福祉・介護保険事業計画の計画値との比較を行い以下の3段階により評価し、具体的状況(時系列・他市町村等比較含む)を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している 3点：概ね計画通りに推移している 1点：計画を上回るペースで推移している			
		③65歳以上の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別) (認定率=認定者数÷高齢者数) ※介護保険事業状況報告を利用	(4) 日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況 <健康関連指標> ・主観的健康観 ・社会参加の状況 ・運動機能 ・口腔機能 ・栄養状態 ・認知機能 ・閉じこもり ・うつ ・健康寿命 等	(4)については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている			
		④日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況 <健康関連指標の例> ・主観的健康観 ・社会参加の状況 ・運動機能 ・口腔機能 ・栄養状態 ・認知機能 ・閉じこもり ・うつ ・健康寿命 等	(3) 要介護2以上の認定率(年齢区分別) 認定率=認定者数÷高齢者数	(3)については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前回の調査時より改善している 3点：概ね前回と同様である 1点：前回の調査時より悪化している			
		⑤健康寿命延伸の実現状況 <指標の例> ・要介護2以上の年齢調整後認定率、その変化率 ※客観的評価のため、健康寿命の補完的指標を参考 ※要介護度の分布や新規で要介護認定を受けた要因の確認も併せて必要	(「項目(4)日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況」において集計する)	(5)及び(6)については、高齢者福祉・介護保険事業計画の計画値との比較を行い以下の3段階により評価し、具体的状況(時系列・他市町村等比較含む)を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している 3点：概ね計画通りに推移している 1点：計画を上回るペースで推移している			
		⑥住民の幸福感の向上 <指標の例> ・住民の幸福度の変化率(日常生活圏域ニーズ調査に調査項目あり)	(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	アウトカム指標全ての項目の点数を平均したものを【定量評価】の評価とする。			
		⑦介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	(6) 介護予防給付の費用額	※「I 総合評価(地域づくりを含む全体評価)」の全体の評価も記載する。			
		⑧予防給付と介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額					
総合事業の充実に向けた指標	アプローチ	プロセス	アウトプット	アウトカム	最終アウトカム		
	高齢者の選択肢の拡大	・生活支援コーディネーターや協議体等による取組実績	・多様なサービス・活動の種類・数	・従前相当サービスが位置づけられたプランの割合	・調整済み軽度認定率 ・初回認定者の平均年齢 ・在宅継続数・率		(7) 調整済み軽度認定率 4点：前年度実績を下回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を上回っている
	ポピュレーション・アプローチ	・出前講座・説明会等の開催数 ・通いの場の箇所数 ・体力測定会の開催数 ・広報活動の回数	・多様なサービス・活動の参加者数等 ・出前講座・説明会等に出席した住民の数 ・通いの場の参加者数	・多様なサービス・活動に対する継続参加率 ・社会参加率 ・通いの場の75歳以上高齢者の年代別参加率・継続参加率			
ハイリスク・アプローチ	・孤独・孤立等の状態にある高齢者へのアウトリーチ支援の実績等 ・サービス・活動Cなど専門職による支援を想定するサービス・活動の開催回数・参加者数等	・孤独・孤立等の状態にあった高齢者の地域の活動の参加者数 ・想定対象者に占める実際の参加者数 ・参加者の参加前後の生活状況等の変化	・孤独・孤立等の状態にあった高齢者の地域の活動の継続参加率 ・社会参加率 ・参加者の一定期間後の生活状況等	(8) 初回認定者の平均年齢 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている			

追加

追加

Ⅱ サービス・活動事業評価

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の例	市評価項目	市評価方法
1 ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	①介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。	(1) 介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。	以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない 以上の得点をストラクチャー指標【定性評価】の得点とする。
2 プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	①窓口相談に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続方法について十分な説明を行っているか。	(1) 窓口相談に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続方法について十分な説明を行っているか。	(1)～(6)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない 以上の得点を平均したものをプロセス指標【定性評価】の得点とし、本項目全体の評価も記載する。
		②介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	(2) 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	
		③サービス・活動事業の実施状況を把握しているか。	(3) サービス・活動事業の実施状況を把握しているか。	
		④サービス・活動事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	(4) サービス・活動事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	
		⑤サービス・活動事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の計画の見直しを行っているか。	(5) サービス・活動事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の計画の見直しを行っているか。	
		⑥要支援者、事業対象者及び継続利用要介護者の個人情報共有に関する説明を行い、同意を得ているか。	(6) 要支援者及びサービス・活動事業対象者の個人情報共有に関する説明を行い、同意を得ているか。	
2 プロセス指標 【定量評価】	総合事業の充実に向けた評価指標	①介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数 ※介護予防・日常生活支援総合事業実施状況調査を活用	(7) サービス・活動事業の実施状況	訪問型・通所型サービスとともに、介護予防ケアマネジメントの利用者数及び実施回数等を以下の3段階により評価し、具体的状況(時系列比較含む)を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している。 3点：概ね計画通りに推移している。 1点：計画を上回るペースで推移している。 以上の点数をプロセス指標【定量評価】の評価とする。
		②サービス・活動事業の実施状況		
3 アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	①主観的健康感	(1) 主観的健康感等	主観的健康感、要介護認定区分、基本チェックリストの該当項目の変化を総合的に勘案して以下の3段階により評価し、具体的状況(時系列比較含む)を記載する。 4点：維持・改善率が前年度実績を上回っている 3点：維持・改善率が前年度と概ね同程度である。 1点：維持・改善率が前年度実績を下回っている 以上の点数をアウトカム指標【定量評価】の評価とする。 ※「Ⅱ 総合評価(介護予防・生活支援サービス事業評価)」の全体の評価も記載する。

Ⅲ 一般介護予防事業評価

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の例	市評価項目	市評価方法
ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	一般介護予防事業の実施に当たり、行政内の他の部門と一般介護予防事業の重要性を共有し、効果的・効率的な事業実施のために、連携する体制を構築できているか。	(1) 一般介護予防事業の実施に当たり、市関係部署（健康づくり推進課、国保医療年金課等）と一般介護予防事業の重要性を共有し、効果的・効率的な事業実施のために、連携する体制を構築できているか	以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の得点をストラクチャー指標【定性評価】の得点とする。
プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスに関する指標	<p>①行政内部での連携 ＜指標の例＞ ・行政内の他部門と連携して介護予防の取組を進める体制の整備状況（会議等） ・行政内の他部門と連携した取組の実施状況（イベントの実施等） ・他部門が行う通いの場や、その参加状況の把握</p> <p>②地域の多様な主体との連携 ＜指標の例＞ ・多様な主体と連携して介護予防の取組を進める体制の整備状況（会議・イベントの実施等） ・多様な主体が行う通いの場や、その参加状況の把握</p> <p>③保健事業との一体的な実施 ＜指標の例＞ 介護予防と保健事業の一体的な実施の実施状況</p> <p>④関係団体との連携による専門職の関与 ＜指標の例＞ ・関係団体との連携状況（会議の実施等） ・専門職の介護予防への関与状況</p> <p>⑤通いの場への参加促進（ポイント等） ＜指標の例＞ ・参加促進に向けたポイント等の取組の実施状況</p> <p>⑥参加促進のためのアウトリーチの実施 ＜指標の例＞ ・対象者把握の取組の実施状況 ・参加促進に向けたアウトリーチの取組の実施状況</p> <p>⑦担い手としての参加促進 ＜指標の例＞ ・通いの場等の担い手を育成するための研修の実施状況 ・有償・無償ボランティア等の推進に向けた取組の実施状況</p> <p>⑧介護予防の企画・検証等を行う体制の整備 ＜指標の例＞ ・介護予防の企画や検証等を行う協議体の設置状況 ・協議会における検証や改善の実施状況</p>	<p>(1) 市関係部署と連携して、介護予防の取組を実施しているか。</p> <p>(2) 地域の多様な主体（地域包括支援センター、地区社会福祉協議会、町（内）会等）と連携して、介護予防の取組を進めているか。</p> <p>(3) 保健事業と介護予防の一体的な実施を実施しているか。</p> <p>(4) 関係団体との連携により、専門職が介護予防に関与しているか。</p> <p>(5) つどいの場への参加促進のための取組を行っているか。</p> <p>(6) つどいの場への参加促進のためのアウトリーチ取組を実施しているか。</p> <p>(7) つどいの場等の担い手を育成するための研修等を実施しているか。</p> <p>(8) 介護予防の企画・検証等を行う体制を整備しているか。</p>	<p>(1)～(8)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない プロセス評価全ての項目の点数をを平均したものをプロセス指標【定性評価】の得点とする。</p>

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の例	市評価項目	市評価方法
プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスに関する指標	⑨データの活用に係る取組の促進 ＜指標の例＞ ・分析等の実施状況の評価	(9) データの活用に係る取組を実施しているか。	(9)、(10)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない
		⑩通いの場に参加する高齢者の状態の把握の実施 ＜指標の例＞ ・通いの場に参加する高齢者の状態の把握	(10) つどいの場に参加する高齢者の状態を把握しているか。	以上の得点を平均したものをプロセス指標【定性評価】の得点とする。
アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	①健康寿命延伸の実施状況 ＜指標の例＞ ・要介護2以上の年齢調整後認定率、その変化率 ※客観的評価のため、健康寿命の補完的指標を参考 ※要介護度の分布や新規で要介護認定を受けた要因の確認も併せて必要	※「I地域づくりを含む全体評価」で用いるため、ここでは評価しない	/
		②住民の幸福感の向上 ＜指標の例＞ ・住民の幸福度の変化率（日常生活圏域ニーズ調査に調査項目あり）	※「I地域づくりを含む全体評価」で用いるため、ここでは評価しない	
		③通いの場を始めとする社会参加の拡大 ＜指標の例＞ ・通いの場（全体・週1回以上）の参加率（実数、延べ数）、その変化率、週1回以上開催の通いの場の有無 ・社会参加（就労、ボランティア、通いの場等）の状況	(1) つどいの場をはじめとする社会参加の状況	(1)、(2)について、以下の3段階により評価し、具体的な状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている
		④通いの場に参加する高齢者の状態の変化 ＜中長期的な課題＞ 通いの場の効果等を評価する観点から、今後、通いの場に参加する高齢者の状態（IADL等）の維持・改善状況を評価することを検討する。	(2) つどいの場に参加する高齢者の状態の変化	以上の得点を平均したものをアウトカム指標【定量評価】の得点とする。